



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimurai950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「宗教と戦争」

「過去の月刊誌『ハーベスト・タイム』(十一月号)に「宗教と戦争」という題の記事が載った。いつものことながら中川健一師の豊富な知識には驚かされる。

ある婦人が私にこう言った。「主人に福音を伝えたいのですが、彼はキリスト教嫌いで、私の言うことを聞こうともしません。逆に、『宗教があるから戦争が起こるのだ』と反撃してきます」。以下、それに対する中川先生の応答である。

確かに宗教が原因となった戦争はある。歴史を振り返ると、宗教が原因となつて起こつた戦争があることは、否定できない事実である。例えば、

① 十字軍(十一〜十三世紀)で、聖地エルサレムをイスラム教徒から奪還するためにヨーロッパからクリスチャンを募つて遠征した一連の闘い。

② 三十年戦争(一六一八〜一六四八年)。ポヘミヤでのプロテスタントの反乱をきっかけに勃発した「カトリックとプロテスタント」の闘い。「最後の宗教戦争」とも呼ばれているが、国家間の権力闘争という側面がある。

③ 北アイルランド紛争。だが実際は民族間紛争と捉えるべきもの。

『戦争の百科事典』によれば、歴史上に起こつた一七六三の戦争を取り上げて、宗教的な戦争は百二十三であり、イスラム教を除外すると、宗教的戦争はわずかに五七(三・二三%)であり、ほとんどの戦争は宗教とは無関係に起こつていことが分かる。二十世紀の二度にわたる世界大戦も宗教とは無関係であり、さらに大量虐殺も無宗教のもとで起こつている(スターリンの四二六七万人、ヒトラーが二〇九四万人、毛沢東が三七八二万人)。そのように、宗教やイデオロギーが戦争の二次的な原因の一つではあつても、戦争が第一原因ではない。人間の罪、人間の利己心、欲望、怒り、敵意などが戦争の第一原因である。だから無神論者は宗教がなければ戦争が無くなると考えているようだが、これは人間の本質を誤解した暴論であり、人間は別なもので心を満たそうとする。

その別なものとは、戦争の第一原因として中川先生が挙げた人間の罪である。「あなたがたの中の戦いや争いは、いったい、どこから起こるのか。それはほかではない。あなたがたの肢体の中で相争う欲情からではないか」(ヤコブ四・1)とあるように、この人間の性質が解決されない限り、世界に平和はない。主イエスによる罪の解決なしには、世界平和は到来しないのである。その主が再び来られると聖書は幾度となく宣言する。世界の希望は今やそこにしかない。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

